

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	I P P O長田校		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 30日		～ 令和 8年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 16日		～ 令和 8年 3月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心感を感じながら楽しく通所できている。	子どもたちが安心感を感じながら今日も楽しかったと思えるようなプログラムを取り入れ、職員も一緒に楽しみながら活動することを心掛けています。	より子どもに必要な療育ができ、子どもたちや保護者にも安心感を持ってもらえるような支援をしていきます。
2	毎日、振り返りを行い、職員間で情報共有をし支援をしています。	子供たちの状況をしっかり観察し、こと細かい内容も含め情報共有しています。	引き続き振り返りを行い、支援の改善につなげます。職員がひとりひとりが気が付いたことを共有し、支援の統一化を図って行きます。
3	SST(ソーシャルスキルトレーニング)による社会性スキルの獲得。	SST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れ、適切なコミュニケーションや感情のコントロール・表現、ルール理解を促進しています。日常生活に活かせる社会的スキルの獲得を目指しています。	家庭や学校と連携した支援内容の共有を強化し、子どもの特性に応じたSST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	消防訓練や避難訓練など行っているが、保護者の方へ情報が伝わりにくい。	定められた消防訓練や避難訓練は実施しているが、曜日によって日によって利用されている児童が変わるため、全児童が参加することが難しい。	引き続き様々な曜日で訓練を実施し、発信できるようにする。
2	自立通所している児童の保護者との直接な関わりが少なくなっている。	自立通所しているので送迎がなく、保護者の方とお会いする機会が少ない。	今後、保護者の方に連絡を取り直接お会いして関りが持てるようにする。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	IPPO長田校				公表日	令和 8年 3月 30日		
		利用児童数	29名		回収数	22名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21			1	空間を広くとり、自由に活動ができ成長を促していける環境を整えています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11		4	7	地域の子と一緒にするイベントができた らうれしいです。	今後、実施できるよう検討いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	5	3	研修会や勉強会をしたいです。	現在実施しておりませんが、今後必要に応じて検討いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	22					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21		1			保護者の方と面談を行い、日々の情報共有を行うことができる機会を増やします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21		1			引き続き、ご家族やお子様の状況に寄り添った支援ができるように努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	6	6	参観日やきょうだい児の会とつながりをもち交流したいです。	現在実施しておりませんが、今後必要に応じて検討いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21			1		HPやインスタグラムに事業所の活動や自己評価結果の発信を行っています。今後も周知に努めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20			2		各種マニュアルについて保護者の方に周知していただけるように努めます。職員全員が適切に対応できるよう発生を想定した訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			2		年2回、児童を含め実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21		1			安全確保計画書に基づいた訓練を通して支援を行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	1			先生やお友達との関わり、IPPO長田校長さんでの活動の中で、本人の喜びやコミュニケーション、他、安心できる居場所をつくって頂きいつも感謝しております。	安心して通所できるよう、職員一同精一杯努力いたします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	1			利用回数は少ないですが毎回お友達や先生方に会えるのを楽しみにしています。『楽しかった～!!』と元気に帰って来てくれる表情を見て、いつもIPPO長田校長さんに出会えた事にありがたく感じております。	楽しみを持って通所できる環境・カリキュラムを立案していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22				運動療育を通じてたくさんできる事が増え、大変満足しています。いつも親子共々の心に寄り添って頂き、息子の成長、その時の状況を察知し心を救ってくださり、本人にとっての『今』を大切に見守り報告を頂いて居ります。	皆様に満足していただける支援を提供させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		IPPO長田校		公表日		令和 8年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		空間を広くとり、自由に活動ができ成長を促していける環境を整えています。	今後もスペースの有効活用を心掛けていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4		基準の配置数は満たしています。	法令上の基準は満たしているので、今後も職員のスキルアップに努めて行きます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		ロッカーや玩具箱等、文字でわかる視覚的な提示をしています。	引き続き子どもたちが分かりやすく、過ごしやすい環境を目指し適切な配慮をしていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		衛生面に気を遣い、毎日消毒清掃を行っています。	引き続き環境整備に努めていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		職員同士で声かけを行い子どもたちの状況を共有しています。	引き続き環境整備に努めていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		毎日の振り返りを行い、次の療育に向けての課題や目標を共有しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者評価の内容を職員に伝え、ご意見を把握し可能な限りそのご意見に答えられるよう改善に努めます。	職員間で保護者のニーズを把握し、引き続き改善に向けて努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		普段から意見を言いやすい環境になるよう努めています。	引き続き、職員の意見にも沿ってより良い支援ができるように努めていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	現在、第三者評価は行っておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4		社内で研修の機会が確保され実施しております。	引き続き社内研修で学びの機会を確保していきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		HPIにて支援プログラムを公表しております。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		支援計画更新の時期に合わせて保護者からの最近のご様子など聞き取りを実施した上で作成しております。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		個別支援計画更新のタイミングに合わせ、ひとりひとりのミーティングを職員で行っています。	職員間で協議し改善していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		毎日、前回の様子の確認を行いながら支援しています。	職員間で協議し改善していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の行動観察を行いながら情報共有をし確認しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		「本人支援」「家族支援」等を中心に適切に実施しております。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		毎日、前回の様子等からどのような支援が良いか話し合っています。	引き続き職員間で意見交換しながらプログラム立案を行えるように努めます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		前回と同じ内容にならないように工夫しています。	引き続き、子どもたちが楽しく活動できるよう工夫していきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		子ども状況に合わせながら、放課後等デイサービス計画を作成しております。	計画に沿った支援を行うことができるよう努めていきます。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日、支援開始前に前回の振り返りをし、その日の支援内容について話し合いを行っています。	今後も、しっかり打ち合わせを実施し、支援に活かしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		毎日、支援終了後に振り返りを行っています。	今後も、しっかり打ち合わせを実施し、支援に活かしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日活動議事録をとりいれ、支援の検証・改善に繋げています。	今後も、活動議事録をとり確認できるようにしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に一度モニタリングを行っています。	職員からの情報を取り入れモニタリングを実施していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4		自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・余暇の提供を組み合わせ活動を実施しております。	今後は地域交流の機会の提供も実施できるように努めてまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		年齢や子どもの特性や目標に応じて寄り添った支援の内容を行っています。子どもの希望等、聞き取りも行っていきます。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		担当者会議の機会としては少ないですが、お声があった際には積極的に参加しています。	事業所内で共有していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		協力医療機関もありますが、保護者の方から通っている病院や学校の情報を共有していただいております。	事業所内で共有していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校迎え時に直接的なやりとりをさせていただいております。保護者から学校のお便りや年間行事予定などのコピーをいただき把握に努めています。	事業所内で共有していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		就学前に利用していたIPPOKIDSからは直接なやりとりを行っています。保護者の方を通じて過去の様子を聞き取りしています。	今後も情報共有に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		IPPOWORSに移行する際にはそれまでの支援内容等の情報共有を行っています。	今後も情報共有に努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4	現時点では機会はありません。	今後、必要に応じて実施を検討いたします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	現時点では機会はありません。	今後、必要に応じて実施を検討いたします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4	現時点では参加しておりません。	今後、機会があれば参加指定と思っております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		支援終了後、保護者の方と口頭でお話をする機会を設けております。	密にコミュニケーションが取れるように努めていきます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	家族支援プログラムの体制は整っていないため、個別に相談や助言等の支援を行っています。	今後、必要に応じて実施を検討いたします。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明を行っています。	今後も丁寧に説明していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		子どもや家族の意向を聞き取り反映しています。	今後も、要望や移行を確認しながら作成していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		支援計画の内容理由など説明して同意をいただいております。	今後も、内容理由を説明し同意をいただきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		困り事や悩み事等の相談があった際には、速やかに面談や相談ができるように支援しております。	引き続き、保護者との信頼関係が構築できるように努めていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4	現時点ではそのような交流の場は設けておりません。	今後、必要に応じて実施を検討いたします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		契約時に苦情の相談窓口についても説明しており迅速に対応しております。	相談や申し入れがあった際には迅速かつ適切な対応に努めていきます。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		HPやInstagramに発信しております。	今後も情報発信の充実と周知に努めていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報が記載された書類に関しては、鍵付きの書棚に保管しております。	個人情報が記載された書類の取り扱いは十分に留意いたします。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		子どもとのやりとりをする際には年齢や特性に応じて様々な方法での情報伝達を行っています。	引き続き、より良い支援ができるように努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	現時点では行っておりません。	地域に開かれた事業所運営ができるよう検討いたします。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルをいつでも閲覧できるよう環境設定しております。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		年に2回、消防・避難訓練を行っています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		職員に共有しています。	引き続き、安全に留意し支援を行います。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		保護者の方にアレルギーの情報も聞き取りも行い職員間で共有しています。	引き続き、イベント等は併せてアレルギーの有無を確認し支援を行います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		危険な個所や場所を職員で考え共有しています。	引き続き、安全に留意し支援を行います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		お子さんの安全確保に関して家族等の連携が図られるよう共有しております。	引き続き、内容の周知を図っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットは共有し、再発防止に向けてどのような対策が必要かなど話し合うことができます。	引き続き、安全に留意し支援を行います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止研修を定期的実施している。	引き続き、定期的に研修を実施します。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		現在、身体拘束を行う児童がいないので説明はしていません。	今後、身体拘束が必要な児童に対しては事前の説明を行い十分理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載いたします。